

平成24年度事務事業評価シート (23年度実施事業分)

事業番号	06 07 04	中期総合計画主要施策番号	2-08,3-03,5-04	担当課	部・課	商工労働部 労働雇用課	
事業名	仕事と家庭両立支援推進事業				内 線	2473	
					E-mail	rodokoyo@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H19 ~	根拠法令等	「仕事と生活の調和憲章」および行動指針、長野県「社員の子育て応援宣言！」登録制度要綱				
実施方法	県が直接実施					国庫・ 県単	国庫補助事業・ 県単独事業

事業の概要等	目的(必要性)	・企業における従業員の仕事と子育て・介護などとの両立を可能にする、働きやすい職場環境整備を促進することを目的とする。
	対象	企業の事業主と労働者および一般県民
	目指すべき姿	従業員の労働時間等の改善や仕事と子育て・介護などとの両立を可能にする働きやすい職場環境整備を進める。
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークライフバランス推進セミナーの開催 ・「社員の子育て応援宣言！」企業の登録 ・従業員の子育てを支援する先進的な取組みを行っている企業の表彰 ・事業主向け、労働者向け啓発リーフレットの作成 ・仕事と家庭両立支援アドバイザー訪問事業

事業コスト	区分	単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳
	最終予算額 (A)	千円	12,046	12,351	11,648	<ul style="list-style-type: none"> ・報酬(アドバイザー報酬):8,541千円 ・共済費(アドバイザー社会保険料等):1,212千円 ・報償費(推進セミナー講師謝金):115千円 ・旅費(推進セミナー講師旅費等):25千円 ・需用費(啓発用パンフレット・リーフレット等):716千円 ・役務費(賞状筆耕料・テープ起こし):19千円 ・負担金、補助及び交付金(アドバイザー児童手当拠出金):11千円
	決算額 (B)	千円	9,992	10,642		
	B(H24はA)のうち一般財源	千円	563	484	440	
	概算人件費	人	1.30	1.30	1.30	
	概算事業費 (B(H24はA) + C)	千円	20,804	21,377	22,383	

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績
	ワークライフバランス推進セミナー(活)	回	1	1	1	・従業員の子育て支援に積極的に取り組んでいる2企業の表彰を行なった。
	アドバイザーの企業訪問(活)	箇所	468	465	400	・仕事と家庭両立支援啓発用パンフレットを作成・配布した。
	宣言登録の企業(累計)(成)	社	91	175	200	・ワークライフバランス啓発ポスター・リーフレット・事例集を作成・配布した。
	<効率指標(単位当たりコスト等)> アドバイザー企業訪問	千円 / 箇所	19	22	22	(効率指標 算出式) アドバイザー企業訪問経費 / 企業訪問箇所数

事業の成果	事業の目標(H23)	事業成果・評価	評価区分
	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークライフバランス推進セミナーを年1回開催。 ・宣言の登録企業を累計110社とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年11月に上田市で推進セミナーを開催した。(参加者150名) ・宣言の登録企業が平成24年3月31日現在累計175社となった。 	a 期待以上

事業の課題	区分	判定・説明			
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明 人口減少・少子高齢化が進み、女性や高齢者の就労参加が望まれる中で、「働き方」の見直しが求められている。 「仕事と生活の調和憲章」に基づく労働時間等の改善や仕事と子育て・介護などとの両立ができる職場環境の整備について、一層、企業が積極的に取り組むことができるよう、セミナーへの参加者や子育て応援宣言の登録企業を増やしていく工夫が今後必要である。
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり	
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり	

総合分析等	総合分析(今後の課題、取組方針等)	仕事と生活の調和(ワークライフバランス)に対する意識の醸成のため、広く周知・啓発を行う。仕事と子育て・介護などとの両立ができる職場環境の整備について、企業が積極的に取り組むことができるよう、関係団体と連携し、より多くの企業(事業所)に対し関係法規の趣旨、育児・介護休業制度等について周知・啓発を行う。
	特記事項	